情　報　提　供　資　料

令和４年６月 30 日(木)

日　高　市

教育部　生涯学習課　生涯学習担当
℡042-989-2111　内線 5531
課長　中條　智則
担当者職・氏名　主幹　平井　世一

第 31 回大学公開講座
日高ライブリーカレッジを開講します

大学公開講座日高ライブリーカレッジは、平成２年度に開講し、今年で第31回目となります。昨年度は新型コロナウイルス感染防止の観点から中止となりましたが、今年度は感染防止に配慮して開講します。

開講当時から現在に至るまで、受講生参加型の公開講座であり、受講生で構成される企画運営委員会が企画・運営を行っている事業です。

今回は、コロナ禍であることから医療現場の最前線でご活躍されている埼玉医科大学総合医療センターの三村医師をはじめ過去の講座の中から「もう一度聴きたい講師」や「新たに聴いてみたい講師」の方々を迎え開講します。

日時　８月27日、９月10日、24日、10月８日、10月22日の土曜日（全５回）
午後１時30分から（※第３回のみ午後２時から）

場所　日高市総合福祉センター「高麗の郷」　研修室（日高市大字楡木210番地）

受講料　2,000円（全５講座）

申し込み　７月11日（月曜日）から８月10日（水曜日）までに、各公民館、市立図書館、生涯学習課にある申請書を記入し直接各施設に申し込むほか、電子申請で申し込みください。

人数　100人（申し込み順）

講師等詳細　別紙のとおり

分科会の様子

第31回　大学公開講座 日高ライブリーカレッジ

＜学　習　プ　ロ　グ　ラ　ム＞　令和４年８月27日～10月22日

※都合により、学習主題・講師が変更になることもあります。ご了承ください。

	日　時	主　題 ／ 会　場	学　習　内　容	講 師 (敬称略)
第1回	8月27日 （土） 13：30～ 16：00	開講式（講義開始前） **感染症と人類の記録** **～コロナ禍で注目された言葉を紡ぐ～** 会場：日高市総合福祉センター「高麗の郷」 オリエンテーション（講義終了後）	人類と感染症の歴史は古く、また従来の感染症は人類が望むと望まざるとにかかわらず社会に変化を促した。本講演では、COVID-19が私たちの社会・医療現場に与えた影響について、3密、感染対策、エビデンス、ワクチンなどコロナ禍で注目された言葉を紡ぎながら振り返り、ウィズ・コロナ時代の見取り図を考えていきたい。	埼玉医科大学総合医療センター 総合診療内科　講師 診療副部長兼教育主任 三村　一行
第2回	9月10日 （土） 13：30～ 16：00	**なぜ生物多様性が大切なのか？** **～ その意味を考えてみたい ～** 会場：日高市総合福祉センター「高麗の郷」	近年、生物多様性という言葉がよく聞かれる。生物多様性条約が締結され、国際会議が開催され、生物多様性という言葉はすっかり定着している。様々な生き物がいることが健全な地球の生態系にとって大切なことは自明のことのようであるがなぜ、スズメとカラスだけではダメで、トキやコウノトリがいることが必要なのか。いま一度、生物多様性の意味を考えてみたい。	立教大学 名誉教授 （野鳥の会 会長） 上田　恵介
第3回	9月24日 （土） 14：00～ 16：30	**話し方・食べ方・笑顔でつくるあなたの健康** **～笑顔は元気のバロメーターいきいき生きるコツとは～** 会場：日高市総合福祉センター「高麗の郷」	小学2年生の朗読で「運転手さん」が言えなくて「うんてんちゅちゃん」になってしまい、泣き出した私。そんな私がアナウンサーになれるとは！「笑顔は元気のバロメーター」をモットーに、どんなことにも前向きに取り組んできました。涙あり笑いあり、さまざまな人との出会いを通して得たイキイキ生きるコツとは！発声練習をして、声を出す楽しさもお伝えします。心が元気になる講演です。	フリーアナウンサー 公益財団法人八王子市学園都市文化ふれあい財団理事長 村松　真貴子
第4回	10月8日 （土） 13：30～ 16：00	**コミュニティスペースからのまちづくり** **～郊外住宅地・武蔵台などで取り組む可能性～** 会場：日高市総合福祉センター「高麗の郷」	住みやすいまちをつくるための場として、様々なコミュニティスペースを紹介します。特に、住民が自分たちで運営する場について、新型コロナウイルス感染症流行前後の取り組みを紹介します。また、郊外住宅地・武蔵台などでコミュニティスペースづくりに取り組む可能性についても考えたいと思います。	東京大学 特任講師 後藤　智香子
第5回	10月22日 （土） １３：３０～ １６：００	**人々は何を求めて闘っているのか** **～ウクライナ侵攻、中国、香港、ミャンマーの民主化運動～** 会場：日高市総合福祉センター「高麗の郷」 閉講式（講義終了後）	グローバル化の時代にあって、なぜ東アジアの民主主義は後退を余儀なくされているのか。経済発展の著しいこの地域において、なぜ抑圧的な政権が続いていくのか。いま人々は何を求め、何のために闘っているのか。この地域で影響力を強める中国と日本のあり方、関わり方を踏まえながら、人々の側から「アジアの民主主義」を考え、読み解いていきたい。講義時点のウクライナ侵攻についても触れてみたい。	早稲田大学 教授 野中　章弘